

好評発売中
290円

日本共産党100年の

歴史と綱領を語る

— 志位和夫 —

講師の選び方にかたよりがある

日隈市議は臨時議会(10月7日)、2021年度の部落差別解消推進事業に対し、「講師の選び方にかたよりがあるなど、真の部落差別解消につながらない」と指摘し、日田市一般会計及び特別会計歳入歳出決算を認めませんでした。

人権啓発地域リーダー育成事業で行われた講演会は、2年連続で同じ講師です。市は、「講師の選定にかたよりがあるのではないかと、事業委託先のNPOひた

を踏まえた講演内容とは言えませ

人権研究センターに問いあわせています。その講師は前年度の講演で「多くの人が部落差別は存在すると実感できていない理由は、差別されている当事者が自ら語ることでしか見えてこない点にある」などと話しています。これまで部落解放同盟がやってきた「部落民宣言」や「確認・糾弾」のとりくみが行きづまり、活動の展望が見えていないことを示しています。

部落解放同盟大分県連合会日田市連絡協議会の補助事業成果書には「結婚や就職の際の身元調査、本籍や親の職業を調べられる事案が横行している状況や、インターネットの普及により差別が拡大・悪質化している」という現状認識が書かれています。

日隈市議は、今なお差別が横行しているとの認識で活動する部落解放同盟に対し、真に部落差別の解消につながる補助金になっているか調査し、補助金を見直すことを求めました。

11月7日
臨時議会

部落差別の解消につながらない



家賃が高く2万2600円で暮らせない。

生活と健康を守る会大分県連合会は15日、誰もが健康で文化的な生活がおくれるよう生活保護基準の引きあげなどを求めて、大分県の保護・監査指導室と意見交換を行いました。日田市、宇佐市、大分市、別府市の会員が参加しました。

日田市の生活と健康を守る会副会長の矢野美智子さんは「会員のひとは、県の居住支援ガイドブックにのっている会社がさがしたアパートに引越した。家賃は生活保護の基準2万2600円で風呂が使えず、天瀬の風呂に入っている。日田は家賃が高く、私は生活保護の特例基準3万4600円以内でアパートを見つけている。ところが県は、やむを得ない明確な理由がないと、市を指導している。生活保護法は、健康で文

化的な生活水準を維持できなければならぬとあり、特例基準で住むことに指導を入れないでほしい」と訴えました。県の保護・監査指導室長は「住宅は生きるために必要なもの。基準額は、決して高くない。(特別基準を)適用できるものは、しっかり適用していく」と答えました。

日田市の会員・坂本さんは「エアコンが4年前に壊れて35度を超す夜を扇風機でしのいでいる。エアコンの買いかえを支給対象にして

11月15日 県と交渉 健康な生活を保障する生活保護



▲写真右から矢野、坂本、日隈、後藤(大分県土地改良会館、11月15日)

ほしい」と要望しました。この他12項目の要望を行いました。